

<サロン9条> 第343回例会 (2019.12.10)

テーマ 「オリンピックでの旭日旗を考える」

参加者 14名

話題提供： 丹原美穂さん (メディアを考える市民の会・ぎふ共同代表)

来年のオリンピックの日本開催をめぐるにはいろいろな問題が生じています。「旭日旗」について日本オリンピック組織委員会が認めたことに驚き、丹原さんは国内だけでなく海外の事情をも調べてみるとすごい批判があることがわかり、井の中の蛙で国内だけをみていると酷いことになるのではと思い、現状について皆さんと考えてみたいと述べられ、話題提供をして頂きました。レジメに沿い下記のような筋道だった説明がなされました。

- 1、経緯 (韓国、日本、I O Cの主張の違い)
- 2、海外の反応
- 3、国際オリンピック委員会 (I O C) 憲章
- 4、旭日旗の歴史
- 5、日章旗・旭日旗
- 6、旭日旗とナチス旗は同じか?
- 7、オリンピックを平和の祭典にするために

① 経緯では5月に外務省、防衛省のホームページに発表されたのを受け、8月に韓国が反対の国会決議を行ったこと。韓国の主張は、旭日旗は過去の日本帝国主義・植民地主義の象徴であるとアジアの人民は受け止めている。韓国の国会は旭日旗の持ち込みを禁止する決議をし、9月にI O Cに送り、また100数カ国の組織委員会に一斉に送付したとのこと。こうして新たな日韓関係の火種になったこと。

これに対し、日本の組織委員会は旭日旗を容認し、また政府は「デザインは、大漁旗や出産、節句の祝い旗、また海上自衛隊の艦船の旗、日本国内で広く使用されており、政治的主張とか軍国主義の象徴という指摘はまったく当たらない」(9月、菅官房長官)と居直り発表している。またI O Cは政治問題化を避けるように、ケースバイケースといった対応で五輪に問題が生じた時に対応するとしている。

② しかし海外の反応は厳しく、米フォックスニュースやCNNは「悪魔の旗」と報じているとのこと。また、日本サッカー協会は旭日旗を禁止しているとのこと。またパラリンピックのメダルが旭日旗を連想させるデザインということで保留になったことが報告されました。一方日本の反動層は高須クリニック経営者のように旭日旗を拡汎する動きも紹介されました。

④ 旭日旗は1954年の自衛隊法施行令により規定され、2019年には中国での国際艦観式に使われた。政府は正当化を強調して「日本国内で広く使われている」と強弁しているが、実態は極右団体がヘイトスピーチとか外国人排斥だけに使っている。中国、韓国、東南アジアの国の人々にとって、日本の植民地政策の歴史の傷を思い起こす明白な象徴で

ある。ナチのハーケンクロイツと同じ明白な戦犯旗だと思われる。

東京五輪をボイコットしようの投稿もあり、びっくりしたことも述べられました。北朝鮮は、侵略を受けたアジアの人民に対する冒涇であり、五輪精神を愚弄するものだと表明しているとのこと。マレーシア、シンガポールでも同じ論調が聞かれると。(こうした実態は余りにも政権与党が、過去の天皇制軍事独裁政権が犯した帝国主義・植民地侵略の歴史を改ざんし、今日的に軍国日本を再興しようとしているかを思い知らされ、看過できないと思わされます。)

オリンピック憲章には友情・連帯・相互理解の場にしようと、いかなる見解のデモ・政治的・宗教的・人種的宣伝も認めない、そしてスポーツや選手を政治的・商業的に悪用することは止めようと定めています。

⑤ 旭日旗は皇室の紋章32連の菊を象徴しており、これを16の赤・白で示し、天皇の軍隊として表したとのこと。明治3年(1870年)に大日本帝国陸軍の旗として制定され、国旗(日章旗)に準ずるとされた。戦後、海自は16条、陸自は8条に変えたとのこと。

⑥ 旭日旗とナチス旗のちがいについては、ドイツでは国家社会主義ドイツ労働者党(ナチス)という党の旗であり、日本では大政翼賛会の旗に当たり異なるが、ナチスの旗に当たるとの意見もあるとのこと。

⑦ 最後に、国際的には東京オリンピック実施はされてしまっているが、このような状況で本当に平和の祭典になるのか、と問題提起されました。

(韓国の国会決議をまたず、日本の安倍政権は日韓関係で徴用工や慰安婦の戦後補償問題を、居丈高々に日韓条約で解決済みとしています。過去の天皇制軍事独裁政権のアジアの民衆への戦争犯罪の多くを過ぎたこととし、歴史を改ざん・正当化する政策は被侵略の国・人民の理解を得られないし、その象徴である旭日旗は全く”悪魔の旗”=ナチの旗と同じと言わねばなりません。歴史を改ざんし軍事大国化をすすめ、改憲に走るこの政権に平和の祭典を開く資格はないと思います。)

丹原さんの話題提供を受けて、参加の皆さんでそれぞれの体験をふまえた感想、意見が活発によせられ、この問題を広く関心をひろめていくことで、終わりました。